H30 アクションプランシート　事業 No.38

Ⅰ．事業の基礎情報

事業名		地域医療振興事業				担当部・グループ名		福祉部　健康推進グループ			
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(11)一人ひとりの元気と健康づくりを応援します									
	こんなことに取り組みます	疾病を早期に発見し、適切な治療が受けられる「かかりつけ医」を持つよう働きかけるとともに、地域医療の充実と医療と介護の連携を推進します。									
	みんなで目指すまちづくり指標名	かかりつけ医を持っている人の割合									
		計画策定時の値 (2017)	79	実績値 (2018)		実績値 (2019)		実績値 (2020)		目標値 (2021)	84	(単位) %
総合戦略		■該当する　□該当しない				予算事業名		救急医療事業			

Ⅱ．目指す姿

このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿	☆休日や夜間における救急医療体制が整備され、高度医療や入院治療が必要な患者の医療が確保されている。また、市民の医療ニーズに対応できるよう病診連携が図られ、地域医療が充実している。

Ⅲ．これまでの成果・課題【CHECK】【ACTION】

これまでの取り組み（目指す姿実現のためにこれまで何をしてきたのか）	◇医科・歯科休日当番医の実施と市民へのＰＲを行った。	
	◇病院群輪番制による２次医療救急体制を確保した。	
	◇定住自立圏共生ビジョンに基づき、地域医療ネットワークの運用を行った。	
	◇「上手なお医者さんのかかり方」のパンフレットを配布した。	
成果（これまでの取り組みの成果）	定住自立圏共生ビジョンに基づく地域医療ネットワークが構築され、刈谷豊田総合病院と各診療所がインターネットで結ばれている。このことにより、診療や検査予約のオンライン化と情報共有が図られている。	
課題（目指す姿実現に向け、これまでの取組みから見えてきた課題）	①	病院と診療所の役割を明確にして、市民一人ひとりがかかりつけ医を持つよう、更なる周知、情報発信が必要である。

（様式第１）

Ⅳ．目指す姿の実現に向けた４年間の工程表・事業費概要【PLAN】

事業年度	2018（平成 30 年度）	2019（平成 31 年度）	2020（平成 32 年度）	2021（平成 33 年度）
事業計画	医科、歯科 在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科 在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科 在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発	医科、歯科 在宅当番医の実施 病院群輪番制による2次救急医療体制の確保 地域医療ネットワークによる病診連携と救急医療の確保 地域医療システムの普及啓発
事業費総額(千円)	（当初） 8,342	（見込） 8,342	（見込） 8,552	（見込） 8,342
財源内訳 一般財源	8,342	8,342	8,552	8,342
財源内訳 特定財源	—	—	—	—
特記事項				

Ⅴ．課題解決に向けた取組み【DO】　／　平成 30 年度事業費積算根拠

対応する課題		
	課題の解決に向けて・・・　平成 30 年度に取組むこと　・　平成 33 年度までに取組むこと	
①	平成 30 年度	◆市民一人ひとりがかかりつけ医を持つよう、更なる周知、情報発信を行う。
	平成 31～33 年度	◇健診や教室といった機会を捉えて、パンフレットなどを活用し、ＰＲを行う。
平成 30 年度（事業費の内訳）		・通信運搬費　196 千円　　・保険料　109 千円 ・医科歯科在宅当番医制運営委託料　5,796 千円 ・病院群輪番制病院運営費負担金　　2,241 千円